


No.	112	磯観察			
概要	磯の生き物を見つけ、観察する。				
内容	人数(人)	~40人	時間	3~4時間	
	対象	どなたでも	時期	春~秋	
	場所	坂浦海岸			
	指導形態	自主活動 ・ 職員による事前の説明のみ 職員・講師による直接指導			
	安全管理	引率者と担当職員による監視			
ねらい	○海辺にいる生物に興味を持つ。 ○海での安全な活動のために、気を付けなくてはならないことを知る。 ○自然や環境を大切にすることを育む。				
準備	施設から貸出	ライフジャケット(子供用・大人用)、バケツ、手網、プラスチックケース、箱メガネ レスキューチューブ、トランシーバー、白バケツ、雷探知機、水タンク、ブルーシート、救急セット、熱中症セット、ゴムシート			
	団地で準備	ぬれてもよい服、ぬれてもよい靴(サンダル、クロックスは×)、買い物袋、防寒着(風よけになるもの) タオル、帽子、日焼け止め、飲み物、あめ等(糖分・塩分補給用:必要であれば)			
	確認事項	出発する前に着替えを浴室の脱衣所に置いておく。			

	内 容	留意事項
活動前	実施の可否を確認する。 指導スタッフと打合せをする。 シャワー室、脱衣所、研修室等で着替えを済ましておく。 スタッフは、タライに水をためておく。(必要数)	・天候や磯の状況、参加者の状況等を考慮し、相談の上、実施の判断をする。 ・着替えを脱衣所に準備しておく。 ・持ち物を確認する。
展 開	○ロビーに集合(ライフジャケットを着用する) ①バスで坂浦に移動する。(20分) バスの中で、安全面やマナーについての注意をする。 ・危険な生き物(くらげ、うに、ごんずい、オコゼなど) ・危険な行動(走る、跳ぶ、海に背を向ける、指定した範囲の外には行かないなど) ・採ってはいけない生き物(ウニ類、サザエ、あわび) (箱メガネ・手網はバスから降りてすぐに個人に渡す。) ②磯に到着後、トイレの場所を確認する。 ③磯観察をする前に、次のことについて指導する。 ・活動する範囲を確認する。 ・生き物をむやみに傷つけない。 ・生き物を大量に捕獲しない。 ・生き物の住み家にお邪魔するという気持ちを持って活動する。 ・観察後、捕獲した生き物はその場所に返す。 ④ライフジャケットを付けたまま磯観察をする。 ・パディシステムを用いて活動し、終了時には必ずパディの存在を確認する。 ⑤捕獲した生き物について、講師の話を聞く。 ⑥生き物を元の場所に放す。(バスに乗る前に箱メガネ・手網を返す。) ⑦ライフジャケットのままバスに乗ってサン・レイクに帰る。 ⑧到着後、ライフジャケットや使った道具を洗って干す。 ⑨着替えをする。(浴室の利用はシャワーのみ可。)	(職員は、必要な道具を軽トラックまたはワゴンで先に運び、荷物置き場をセッティングしておく。) ・監視体制の確認をする。立ち位置等。 ・水分補給、休憩を適宜行う。 ・引率者は安全について十分注意する。 ・活動終了後、人員点検を行い、体調についても確認する。
		湖面活動とバスの輸送が重なった場合、送迎時刻を調整する。 磯 8:40集合 8:50発 10:50迎 12:40集合 12:50発 14:50迎 湖面 9:30発 11:20迎 13:30発 15:20迎